

(様式7) 日本工業規格 A 4 (縦)

質 疑 応 答 書		
件 名 平成 29 年度 浜松医療センター新病院整備事業施工予定者選定プロポーザル		
事業者名		
メールアドレス		
提 出 日 平成 29 年 11 月 21 日		回 答 日 平成 29 年 12 月 13 日
項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	(新棟 構造)	
S-01	建築工事(構造)特記仕様書-1 の 4 章 2 節にある試験杭 5 本について、伏図上に記載が無い為、場所をご指示下さい。	実施設計にて調整します。
S-33 S-35	基礎 H 寸法について、各リスト断面図に 2400mm とありますが、同じく断面に基礎梁下端が基礎下端より上 400mm の記載がある為、基礎梁 H2200 を考慮すると基礎 H 寸法は全て 2600mm と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-34	擁壁断面リストの擁壁下部床について、基礎梁への定着長さをご指示下さい。	L2 以上かつ基礎梁幅の 1/2 以上とします。
S-34 S-35	擁壁断面リストの FW200 擁壁下部の床厚について、2000mm とありますが取り付く基礎梁 H 寸法は 2200mm です。床と基礎梁の下端レベルは異なると考えてよろしいですか。	床厚を 2200mm とします。
S-33	各基礎リストの底面にある斜め筋について、長さをご指示下さい。	杭径+300mm (杭より両側 150mm ずつ) とします。

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
S-33	各基礎の底部補強筋について、立ち上がり長さは400+L2と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-04	基礎梁の定着要領について、MF1～10を柱と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
—	基礎梁のあばら筋について、MF1～10の手前までと考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-34	底盤について、D10@1000の巾止めが必要と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-20	基礎伏図の下記範囲にある基礎梁について、符号はFB2と考えてよろしいですか。 J 通り 17～18 通り間 F 通り 21～22 通り間	貴見のとおり。
A-17	1階平面図 3～4 通り A 通り外側にあるマシンハッチについて、断面図・構造部材配筋をご指示下さい。	A-3 1 標準詳細図 1 D1-19を参照してください。
S-53	床符号 S120 及び S140 について、D10@1000の幅止め筋を見込むと考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-21 A-28 A-29	免震 <sup>ビ</sup> ット階の床厚について S-21 図 t150(S15)、t350(S35) A-28、29 図 t350のみ S-21 図の t150(S15)、t350(S35)を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。

項目	質疑事項	回答事項
S-06	壁端部補強のキャップ筋について、定着長さ L3 は 20d と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-23	小梁について、1階梁伏図 共通事項 5.片持ち小梁符号は Cb65 とすると記載ありますが、伏図上に片持ち小梁の図示が無い為、不要と考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
—	上記質疑で Cb65 が必要な場合、適用範囲とリストをご指示下さい。	—
S-24 S-41 S-48	2階 8～9 通り間/F 通りの片持ち梁について、共通事項 5.RC 片持ち梁符号は CB11 とすると記載ありますが、SRC の柱(C21)に取り付く為、CB21 と読み替えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-40	免震部材基礎 MF1～3 の配筋について、D 断面に主筋 B-D22 とありますが、B のリストが不明です。A 断面の A' に倣うと考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
S-40	免震部材基礎 MF1～3・12 のベース筋について、定着長さが不明です。MF4～8 の定着 40d に倣うと考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
S-40	免震部材基礎 MF1～8・12 の主筋について、折り曲げの図示がありますが、長さが不明です。40d と考えるとよろしいですか。	主筋の折り曲げは不要とします。
A-29	D-D'矩計図 RFL の 3 通り柱について、構造種別が不明です。S 造と考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。

項目	質疑事項	回答事項
S-23 S-53	1階 3+4000 通り/B~C 間リアック壁について、符号が不明です。W100 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
S-40	免震部材基礎 MF11 K 断面・N 断面で、X 方向の鉄筋本数について S-40 図(図示) 5 本 S-40 図(数量表記) 6 本 と相違しています。S-40 図(図示)を正と 考えてよろしいですか。	数量表記 (6 本) を正とします。
A-28 A-29 S-23	1FL 大梁天端に増打ちについて、1 階床 梁伏図にレベルの記載が無い為、増打ち厚 及び範囲が不明です。1FL 全ての大梁に 厚 300 の増打ちを見込むと考えるとよろ しいですか。	貴見のとおり。
A-28 A-29 S-06	リアック上部 2FL 床及び大梁に増打ちにつ いて、配筋が不明です。梁側増打部は鉄 筋コンクリート構造基準図-3 の梁増打ち補強 筋に倣い、スラブ 下端増打部は D13@200 シ ングルクロスと考えるとよろしいですか。	大梁：側面増し打ちではなく、すべり 支承 EB70A 基礎として、MF7 を 2 階 柱下 (4 か所) 想定して下さい。  スラブ：貴見のとおり。
S-21 S-34 A-24 A-25	F~I 通り間/14~23+6200 通り間の擁壁 FW200・FW35 の壁高さについて、前面 道路レベルに沿わず、全て構造図通りの 高さと考えてよろしいですか。	建築図の前面道路レベルに沿わせるも のとします。
—	上記質疑で、前面道路レベルに沿わせる場 合立面図の道路地盤レベルについて 例 21 通り/G 通り A-24 GL1+1000mm 程度 A-25 GL1+2300mm 程度 と相違しています。A-24 図を正と考えると よろしいですか。	貴見のとおり。

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
S-26 A-20	4 階梁伏図及び平面図に二重スラブについて、断面図が無く納まり(下部スラブレベル・空間部充填材の有無等)が不明です。ご指示下さい。	下部スラブレベル：スラブ下端と大梁下端が同レベルと考えて下さい。 充填剤は不要、また各スパン毎の床に化粧マンホールを1箇所見込むものとします。
S-02 S-04	鉄筋の定着長さについて、コンクリート強度が $Fc42N/mm^2$ の場合下記のように考えてよろしいですか。 SD295A・SD295B L1=30d L2=25d SD345 L1=35d L2=30d SD390 L1=40d L2=35d	貴見のとおり。
	(新棟 外部仕上)	
A-02 A-04	屋根断熱アスファルト防水 断熱材について A-02 図 A 種押出法ポリスレンフォーム3種b スキン層付 A-04 図 押出法ポリスレンフォーム2種b と相違しています。A-02 図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-02	上記断熱材の厚みについて、建築工事特記仕様書 19章 防水工事 3.アスファルト防水で t30 と t50 の2種類適用になっておりますが、使い分けをご指示下さい。	全て t 5 0 とします。
A-02 A-27	地下躯体の防水について A-02 図 ベントナイト防水材 後付工法 ボルクレイ ボルテックス防水程度 A-27 図 アスファルト防水 と相違しています。A-02 図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-27	上記質疑について、A-27 図が正の場合、アスファルト防水の種別をご指示下さい。	—
A-27	上記地下躯体防水の範囲について、断面図より免震ピット外壁と土が接する部分のみ必要とし、地下水槽外壁は不要と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-04 A-08 A-24	建築工事特記仕様書 3 18 章 塗装工事 15.特殊塗料塗りに記載ある外部 FU 部フッ素樹脂塗装について、外部仕上表及び立面図より DP-A 塗装に該当すると考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-58	3Fリハビリ庭園 鉄骨円柱の仕上について、外部用耐火塗装 1 時間耐火と考えてよろしいですか。	外部用耐火塗装 2 時間耐火とします。
A-58	3F リハビリ庭園について、砂利道の詳細をご指示下さい。	実施設計にて確定しますので、同規模程度の事例から、リハビリ庭園の歩行訓練としての砂利道の仕上を想定してください。
A-58	3F リハビリ庭園について、飛び石歩行道の詳細をご指示下さい。	実施設計にて確定しますので、同規模程度の事例から、リハビリ庭園の歩行訓練としての飛び石歩行道の仕上を想定してください。
A-58	3Fリハビリ庭園について、スロープの詳細をご指示下さい。	RC 造とし、上部踊り場を FL+6 0 0 mm、タイル仕上げ、SUS 手すり付きとします。
A-58	3F リハビリ庭園について、小階段の詳細をご指示下さい。	RC 造とし、上部踊り場を FL+6 0 0 mm、タイル仕上げ、SUS 手すり付きとします。
A-58	3Fリハビリ庭園について、ベンチ裏側 独立壁の詳細をご指示下さい。	緑化フェンス H=2.5m 程度とします。

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-31	屋上庭園 植込立上りについて、【参考図】標準詳細図 1(外部)D1-6に記載あるタイル貼のメーカー・品番等をご指示下さい。	LIXIL ピュアM50 角程度とします。
A-29 A-92	光庭の床仕上について、屋上緑化平面図にタリュウ+化粧砂利と記載ありますが、矩計図 2 4F 光庭にウッドデッキと記載ある為、光庭は全てウッドデッキと考えてよろしいですか。	3階光庭は化粧砂利をウッドデッキとします。4階光庭も同様、但し光庭7は1.7㎡→1.7㎡とします。また光庭6、7に中木カ各2本を見込むものとします。5階についても同様とし、光庭7に中木カ各2本を見込むものとします。
A-92	上記質疑について、屋上緑化平面図が正の場合、4F 光庭 3 の数量がありません。ご指示下さい。	6㎡とし、ウッドデッキ敷に中木カ各1本を見込むものとします。
A-20 ~22 A-31	4~7Fバルコニー 植栽について、植込立上りの納まりが不明です。【参考図】標準詳細図 1(外部)D1-6 同様と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-29	2Fバルコニー プランターボックスについて、詳細をご指示下さい。	外観パース等を参考にして想定してください。
A-92	屋上緑化平面図に記載ある高木根元 ハードウッド 800×800×600について、詳細をご指示下さい。	木製の植栽立ち上がりとします。
A-92	屋上緑化平面図 4F 及び 5F に記載ある砂利敷について、厚みをご指示下さい。	t 100とします。
A-31 A-92	屋上緑化について、【参考図】標準詳細図 1(外部) D1-6 に緑化工法(将来工事)と記載ありますが、屋上緑化平面図で将来工事の範囲が不明です、ご指示下さい。	将来工事ではなく本工事とします。

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-31	ハ小屋 開口塞ぎ アルミパネについて、厚みは t2 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-28	1F 軒天井 杉板 t15 について、表面塗装は WP と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-28	1F 軒天井 杉板 t15 について、下地の納まりをご指示下さい。	A03 の 1 4 章に基づき想定してください。
A-45	免震 EXP.J 凡例 E.J7 について A-45 図(配置キープラン) STF-S-FF750 (総重量 6 トン対応) A-45 図(詳細図) STF-S-WW-FF750 (歩行用) と相違しています。A-45 図(詳細図)を正と 考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-17 ~20 A-45	免震 EXP.J の数量について、配置図キープ ランと各階平面図で相違しています。各階 平面図を正と考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
A-01 A-45	免震 EXP.J のクリアランスについて、特記仕様 書(共通) 共通事項 32.エキスパンションジョイント のクリアランスと標準詳細図 15(免震 EXP.J)で 相違しています。標準詳細図 15(免震 EXP.J)を正と考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
A-28 A-32	免震擁壁 止水ゴム取付部について A-28 図 アルミ押え金物 A-32 図 SUS FB-3×30 押え と相違しています。A-32 図を正と考えると よろしいですか。	貴見のとおり。



項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-03	アルミ笠木の表面処理について、建築工事特記仕様書 2 14 章 金属工事 10.アルミ笠木で表面処理が B-1 種と B-2 種の 2 種類適用になっておりますが、使い分けをご指示下さい。	全て B-1 種とします。
A-08	外部金属類裏面 断熱材について、建築工事 共通事項 19 にグラウト t25 吹付と記載ありますが、グラウト t3 吹付と考えてよろしいですか。	t 2 5 とします。
A-05	鳥害防止について、建築工事特記仕様書 4 その他特記事項に建物外部廻りにおいて、鳥害の恐れのある部分については対応を考慮すると記載ありますが、必要な場合、詳細をご指示下さい。	SUS ワイヤー、鳥類用電気ショック等について、同規模程度の事例から想定してください。
A-87	下記サインの基礎及び根巻について、サイン外工事と記載ありますが、寸法・詳細が不明です、ご指示下さい。 ・E01 施設名称サイン 1 ・E04 診療案内サイン ・E05 救急入口サイン 1	実施設計にて確定しますので、同規模程度の事例から想定してください。
A-66	屋外階段 手摺について、メンバー・詳細をご指示下さい。	H950、支柱 St FB9×32、横棧 St 丸棒 16 3段、手摺 St 34、St 部は溶融亜鉛メッキ処理とします。
	(付属建物 外部仕上)	
A-03 A-89	屋根折板の仕様について A-03 図 ガルバリウム鋼板 t0.8 A-89 図 不燃カー折板 t0.6 と相違しています。A-03 図を正と考えてよろしいですか。	A-89 を正とします。

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	(マニホール <sup>°</sup> 外部仕上)	
A-89	縦樋の仕様・径について、SGP管 SOP 塗装 80A と考えてよろしいですか。	アルミ既製品、径80Aとします。
A-89	立面図に記載ある目隠し <sup>°</sup> 柵について、仕様・詳細をご指示下さい。	S t 製有孔折板 (Fu 塗装) とします。
	(排水処理・RI 排水処理 外部仕上)	
A-89	縦樋の仕様・径について、SGP管 80A と考えてよろしいですか。	アルミ既製品、径80Aとします。
A-89	オーバーフロー管の仕様・径について、ステンレス 50 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
	(廃棄物庫 外部仕上)	
A-89	縦樋の仕様・径について、SGP管 80A と考えてよろしいですか。	アルミ既製品、径80Aとします。
	(新棟 内部仕上)	
A-13	内部仕上表 1 風除室及びエントランスホール床仕上について、2A とありますが 2 は御影石・大理石です。3A と読み替えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-28 A-29	免震 <sup>°</sup> ット内仕上について、矩計図 1 B 部 矩計図 A 通り斜め壁部分に RC 打放し化粧左官塗装、矩計図 2 D-D' 矩計図 24 通り壁に RC 打放し DP-A 塗装とありますが、免震 <sup>°</sup> ット内となる為、仕上は打放し 素地と考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
A-28 A-29	免震 <sup>°</sup> ット内仕上について、下記と考えるとよろしいですか。 ・床:コンクリート金鍍押さえ ・壁:打放し補修 素地	貴見のとおり。

	<p>・梁:打放し補修 素地</p> <p>・天井:FPt50 打込</p>	
項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-01	<p>特記仕様書(共通) 7.工事区分について、3基礎、ピット、マンホールその他工事 3 屋内の床上機械基礎は建築工事とありますが、施工範囲・形状が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>実施設計にて確定しますので、電気設備図、機械設備図等から同規模程度の事例から想定してください。</p>
A-01	<p>特記仕様書(共通) 7.工事区分について、3基礎、ピット、マンホールその他工事 4 床下(ピット内)の機械基礎は建築工事とありますが、施工範囲・形状が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>実施設計にて確定しますので、電気設備図、機械設備図等から同規模程度の事例から想定してください。</p>
A-02 A-33	<p>二重床 OA フォア下の仕上について</p> <p>A-02 図 水和凝固型塗布防水</p> <p>A-33 図 防塵塗装</p> <p>と相違しています。A-02 図を正と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
—	<p>上記質疑について、防塵塗装の場合、程度をご指示下さい。</p>	<p>—</p>
A-02 A-14	<p>3～7F ストレッチャーシャワー室 壁タイルについて</p> <p>A-02 図 LIXIL セラマット材 150 角</p> <p>A-14 図 INAX ミテールブライト 150 角</p> <p>と相違しています。A-02 図を正と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
A-13 A-14	<p>巾木 腰壁同材について、腰壁化粧合板-A及び化粧ケイル板-B部分の巾木の仕様・納まりが不明です。ご指示下さい。</p>	<p>各メーカーの化粧合板腰壁用の巾木を参照してください。</p>
A-13	<p>2F 4 床室巾木について、腰壁同材とありますが、腰壁の記載がありません。腰壁</p>	<p>窓際 H300 程度の範囲に腰壁化粧合板-A、巾木は化粧合板用巾木とします。</p>

	化粧合板-A が必要と考えてよろしいですか。	
項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-04 A-28 A-29	<p>硬質ウレタンフォーム吹付断熱材の厚みについて</p> <p>A-04 図 一般部 t30 下部ビロティ部 t50 上階屋外部 t50</p> <p>A-28・29 図 一般部 t25 下部ビロティ部 t25 上階屋外部 t25</p> <p>と相違しています。A-28・29 図を正と考えてよろしいですか。</p>	A04 を正とします。
A-05	<p>建築工事特記仕様書 4 その他特記事項</p> <p>1.共通事項について、天井面間接照明として長時間天井面が視界に入る治療空間であるリハビリ、人工透析室、化学療法室に見込むとありますが、下記項目が不明です。ご指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工範囲</li> <li>・見切縁の形状・仕様</li> </ul>	人工透析室、化学療法室はベッド頭上、リハビリは中央部のスタッフ室廻りとします。見切縁の形状・仕様については塩ビ製 3 mm とします。
A-13	<p>下記部屋の床仕上について、内部仕上表に 2 種類記載ありますが、それぞれの施工範囲が不明です。ご指示下さい。</p> <p>(磁器質タイル-A・フローリング-A の使い分けが不明な部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1F エントランスホール</li> </ul> <p>(長尺シート-F・フローリング-A の使い分けが不明な部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1F 総合待合</li> <li>・2F コミュニティモータルラウンジ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1F エントランスホールは A47 を正としタイル貼とします。</li> <li>・1F 総合待合、2F コミュニティモータルラウンジは、長尺シート主体とし、2F のラウンジの 150 m<sup>2</sup>程度をフローリングとします。</li> </ul>

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
<p>A-13 A-14</p>	<p>下記部屋の壁仕上について、内部仕上表に 2 種類又は 3 種類記載ありますが、それぞれの施工範囲が不明です。ご指示下さい。</p> <p>(塗壁-D・化粧合板-A の使い分けが不明な部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1F エントランスホール</li> <li>・1F 総合待合</li> <li>・1F コミュニティモール</li> <li>・2F コミュニティモラルounge</li> </ul> <p>(塗壁-B・化粧合板-A の使い分けが不明な部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3～7F 食堂</li> </ul> <p>(塗壁-B・V クロス-A・化粧合板-A の使い分けが不明な部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3～7F スタッフステーション受付</li> </ul> <p>(塗壁-B・V クロス-B の使い分けが不明な部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3～7F 新生児室</li> </ul> <p>(AEP・化粧合板-A の使い分けが不明な部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1F～3F メディカルモール EV ホール</li> <li>・1F 待合</li> <li>・1F 患者支援センター待合</li> <li>・2F 救急待合</li> <li>・2F 採血待合</li> <li>・2F 待合</li> </ul> <p>(V クロス-A・化粧合板-A の使い分けが不明な部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2F 救急病棟廊下</li> </ul>	<p>(塗壁-D・化粧合板-A の使い分けが不明な部屋)</p> <p>塗装 D は 1 階は総合受付、総合案内、自動精算、再来受付の壁面、2 階はベビールーム外側壁とします。</p> <p>(塗壁-B・化粧合板-A の使い分けが不明な部屋)</p> <p>化粧合板-A の腰壁上部は、塗壁-B:化粧合板 A= 1 : 2 とします。</p> <p>(塗壁-B・V クロス-A・化粧合板-A の使い分けが不明な部屋)</p> <p>汚物室北面は塗壁-B、柱部は V クロス-A、その他は化粧合板-A とします。</p> <p>(塗壁-B・V クロス-B の使い分けが不明な部屋)</p> <p>新生児室は 3～7 F でなく 4 F です。仕上げは腰壁上は塗壁-B とします。</p> <p>(AEP・化粧合板-A の使い分けが不明な部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1F～3F メディカルモール EV ホール →全て化粧合板-A とします。</li> <li>・1F 待合、2F 待合 H2100 まで化粧合板-A、その上は AEP とします。</li> <li>・1F 患者支援センター待合 →全て化粧合板-A とします。</li> <li>・2F 救急待合 H2100 まで化粧合板-A、その上は AEP とします。</li> <li>・2F 採血待合 H2100 まで化粧合板-A、その上は AEP とします。</li> </ul>

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	<p>・3～7F EV ホール</p> <p>・3～7F 廊下</p> <p>(Vクロス-A・Vクロス-Bの使い分けが不明な部屋)</p> <p>・1F 中待合</p> <p>・1F リニアック</p> <p>・1F 治療計画 CT</p> <p>・1F 中待合</p> <p>・1F SPECT CT 室</p> <p>・1F PET CT 室</p> <p>・1F 待機室 処置室 負荷室</p> <p>・2F X-TV</p> <p>・2F がんサロ</p> <p>・2F CT 室</p> <p>・2F 一般撮影</p> <p>・2F MRI 室</p> <p>・3F 人工透析 通路 ベットスペース</p> <p>・3F 前室</p> <p>・3F 通路 ICU4～10</p> <p>・3F ICU1～3</p> <p>・3F アンギオ室 1・2</p> <p>・3～7F 4床室</p> <p>・3～7F 1床室</p> <p>・3～7F 重症室</p> <p>・3～7F MFICU</p> <p>・3～7F 1B クラス 1000 100</p> <p>(AEP(G)・タイル-C・化粧合板-Aの使い分けが不明な部屋)</p> <p>・1F・2F 採尿・外来 WC</p> <p>・3F 外来 WC</p>	<p>(Vクロス-A・化粧合板-Aの使い分けが不明な部屋)</p> <p>H2100 まで化粧合板-A、その上は AEP とします。</p> <p>(Vクロス-A・Vクロス-Bの使い分けが不明な部屋)</p> <p>Vクロス-A・Vクロス-B=1:1 とします。</p> <p>(AEP(G)・タイル-C・化粧合板-Aの使い分けが不明な部屋)</p> <p>→手洗い廻り、小便器ライニング壁をタイルとし、それ以外は化粧合板-A とします。</p>

項目	質疑事項	回答事項
A-13	<p>下記部屋の天井仕上について、一部スギ板(不燃)とありますが、施工範囲が不明です。ご指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1F エントランスホール</li> <li>・1F 総合待合</li> <li>・1F コミュニティモール</li> <li>・1F 患者支援センター待合</li> <li>・2F コミュニティモールラウンジ</li> </ul>	<p>基本設計内観パースを参考に想定してください。</p>
A-13	<p>天井スギ板(不燃)について、厚み・表面塗装が不明です。t15 WP 塗装と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
A-14	<p>3～7F 食堂 天井仕上について、岩綿吸音板と木製リブの2種類記載ありますが、それぞれの施工範囲・木製リブの詳細・樹種・表面塗装が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>木製リブはナラ材 (CL 塗装) とします。各仕上げの施工範囲は基本設計内観パースを参考に想定してください。</p>
A-13	<p>1F 外来待合 仕上表備考欄に記載ある天井一部木製リブについて、施工範囲・木製リブの詳細・樹種・表面塗装が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>木製リブはナラ材 CL 塗装とし、施工範囲は外来待合の30%程度とします。</p>
A-14	<p>3～7F ストレッチャーシャワー室 巾木・壁仕上について、タイル-B・タイル-C の2種類記載ありますが、それぞれの施工範囲が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>タイル-B・タイル-C = 4 : 1 とします。</p>
A-14	<p>階段 1・2 床フローリングについて、フローリング-A 又はフローリング-B のいずれかが不明です。ご指示下さい。</p>	<p>フローリング-A とします。</p>
A-14	<p>階段 1・2 蹴込について、仕上・納まりが不明です。ご指示下さい。</p>	<p>蹴込はポリカボネート t 8 (半透明) 程度とします。 納まりは踏面上下ともコノ字 S t 金物 (下部は埋込) とします。</p>

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-14	階段 1 壁仕上について、塗壁状とありますが、A～D の使い分けが不明です。塗壁状 A と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-14	階段 床下地内ワイヤーメッシュについて、3.2-50×50 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-13	1F エントランスホール・総合待合 仕上表備考欄に記載ある床暖房について、施工範囲が不明です。ご指示下さい。	A 4 7 図記載の床タイル範囲を床暖房範囲とします。
A-13	1F メディカルモール・EV ホール仕上表備考欄に記載ある柱 9～15 間展示・ギャラリー壁(壁面照明付)について、下記項目が不明です。ご指示下さい。 ・ギャラリー壁の仕様・程度・詳細 ・壁面照明の仕様・詳細	実施設計にて確定しますので、ピクチャーレール、天井間接照明、壁面スリット照明などについて同規模程度の事例から、想定してください。
A-13 A-14 A-34	1F リニアック他仕上表備考欄に記載ある配管ピット 適宜設置について、下記と考えてよろしいですか。 ・範囲: 部屋の長手方向 1 本分 ・詳細: 【参考図】標準詳細図 4 (内部 2)D4-32 B タイプ W200	貴見のとおり。
A-23	下記水槽内の仕上が不明です。下記と考えてよろしいですか。 ・雨水槽: 自閉樹脂塗膜防水 大関化学パテックス B-2 ・高温排水槽: 自閉樹脂塗膜防水 大関化学パテックス B-3	貴見のとおり。



項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-28	<p>湧水槽内部仕上について、下記と考えてよろしいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床:コンクリート金鋸押さえ</li> <li>・壁:打放し補修 素地</li> <li>・天井:コンクリート表し</li> </ul>	<p>貴見のとおり。</p>
A-28 A-29	<p>矩計図 1・2 1Fリアック上部柱頭免震用耐火材について、耐火材の仕様・程度・詳細が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>詳細は実施設計にて確定しますが、2時間耐火性能を確保できる仕様とします。</p>
A-34	<p>【参考図】標準詳細図 4(内部 2)D4-29 画棧について、施工範囲・樹種・表面塗装が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>米梅 OP 塗装程度とします。施工範囲は家具固定用のため、実施設計にて別途備品工事と調整して確定となりますが、300m程度見込むこととします。</p>
A-35	<p>【参考図】標準詳細図 5(内部 3)D5-2 透析ピットについて、3F 人工透析室の透析カウンター下部及び外壁に面する壁部分の下部に見込むと考えてよろしいですか。</p>	<p>水処理室から感染個室を含む各ベッドの透析カウンターまでを床ピットとします。</p>
A-67	<p>病室詳細図 廊下手摺りについて、仕様・程度が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>A35 の D5-15 を参照してください。</p>
A-20	<p>4F 上部二重スラブについて、二重スラブ内の仕上・程度が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>塗膜防水とします。</p>
A-14	<p>3～7Fカフテ壁仕上について、Vクロス・DN-A～Cの使い分けが不明です。Vクロス・DN-Aと考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
A-14	<p>1 床室 UST・US 床仕上について、WP(塗膜防水)と塗床-A の 2 種類記載ありますが、見隠れとなる為、塗床-A は不要と考えてよろしいですか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	下記項目について、施工範囲が不明です。必要な場合、施工範囲をご指示下さい。	
A-01	・ALC 間仕切	実施設計にて確定しますが、下記にて想定してください。
A-01	・ALC 床 <sup>パ</sup> 祉	また、仕上表下欄の各材料については、仕上表に記入のない材料は使用しない想定のため、回答からは外します。(左記項目が A-13 のもの)
A-01	・ECP 間仕切	・ALC 間仕切・・・EV シャフト区画壁 ・ALC 床 <sup>パ</sup> 祉・・・該当なし。(屋根一部を対応の可能性があります。)
A-01	・冷却水受水槽	・ECP 間仕切・・・該当なし。(一部機械室壁に利用の可能性があります。)
A-01	・雑排水槽	・冷却水受水槽・・・該当なし。
A-13	・床 AE 塗-B	・雑排水槽・・・該当なし。
A-13	・床 AE 塗-C	・D2-4 釜場・・・8箇所程度とします。
A-13	・床天然石-A	・D2-5 排水溝(免震 <sup>ビ</sup> ット)
A-13	・床天然石-B	・・・免震 <sup>ビ</sup> ット床に水が溜まらないよう想定してください。
A-13	・床 <sup>タイル</sup> -B	・D4-7 アルミ <sup>パ</sup> 祉・・・該当なし。
A-13	・床 PVC-J	・D4-25 中空二重床(F)-C <sup>タイプ</sup>
A-13	・床 CT-A	・D4-25 中空二重床(F)-E <sup>タイプ</sup>
A-13	・床 CT-C	・D4-27 樹脂軸床(WF)-A～C <sup>タイプ</sup>
A-13	・床 CT-E	・D4-28 上り框
A-13	・床 CT-F	・D-4-32 配線 <sup>ビ</sup> ット・配管 <sup>ビ</sup> ット A(一般)
A-13	・床 CT-G	・・・該当なし。
A-13	・床フローリング <sup>パ</sup> -B	
A-13	・床 VT-A	
A-13	・床 VT-C	
A-13	・床 VT-E	
A-13	・床天然リノリウム <sup>パ</sup> 祉	
A-13	・壁 V クロス <sup>パ</sup> 祉	
A-13	・壁化粧合板-B	
A-13	・壁化粧合板-C	
A-13	・壁化粧 <sup>ケイ</sup> カル-C	
A-13	・壁化粧 <sup>ケイ</sup> カル-D	
A-13	・壁 <sup>タイル</sup> -A	
A-13	・壁塗壁状-A	
A-13	・壁塗装-C	
A-13	・壁 <sup>パ</sup> 祉ボード <sup>パ</sup> 祉	
A-13	・天井岩綿吸音板-C	
A-32	・D2-4 釜場	

項目	質疑事項	回答事項
A-32 A-34 A-34 A-34 A-34 A-34 A-34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・D2-5 排水溝(免震ビッド)</li> <li>・D4-7 アルミパネ</li> <li>・D4-25 中空二重床(F)-Cタイプ</li> <li>・D4-25 中空二重床(F)-Eタイプ</li> <li>・D4-27 樹脂軸床(WF)-A～Cタイプ</li> <li>・D4-28 上り框</li> <li>・D-4-32 配線ビッド・配管ビッド A(一般)</li> </ul>	
A-41 A-41 A-41 A-13 A-37	<p>下記項目について、仕様・程度等が不明です。ご指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋電図室他 タイルヘッド t6 の程度</li> <li>・筋電図室他 ビニルクロス の程度</li> <li>・筋電図室他 岩綿吸音板 の程度</li> <li>・木製巾木 OP の樹種</li> <li>・ヘッドボード壁 MP 貼の厚み・程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋電図室他 タイルヘッド t6 の程度 帯電防止用とします。</li> <li>・筋電図室他 ビニルクロス の程度 仕上表 A グレードとします。</li> <li>・筋電図室他 岩綿吸音板 の程度 仕上表 A グレードとします。</li> <li>・木製巾木 OP の樹種 ナラ材程度 (既製品でも可) とします。</li> <li>・ヘッドボード壁 MP 貼の厚み・程度 t 20 程度とします。</li> </ul>
A-35 A-51	<p>2F吹抜廻り手摺の高さ寸法・ガラスの仕様について</p> <p>A-35 図 強化ガラス H1200            A-51 図 合せガラス H1300            と相違しています。A-35 図を正と考えてよろしいですか。</p>	<p>A-51 図 合せガラス H1300 を正とします。</p>
	<p>上記質疑について、A-51 図を正とする場合、合せガラスの仕様・厚みをご指示下さい。</p>	<p>強化 t 15 と同程度とします。</p>
A-35 A-51	<p>階段 2 の手摺について、【参考図】標準詳細図 5(内部 3)D5-15 に記載ある吹抜廻り手摺と同仕様と思われませんが、階段 2 は鉄骨階段の為、足元の詳細が異なると思われま。階段 2 の手摺足元詳細を</p>	<p>実施設計にて確定しますので、支柱等は吹抜け廻り手すりと同仕様、ガラス受けについてはササラに挟み込むデザインとして想定してください。</p>

	ご指示下さい。	
項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-35	【参考図】標準詳細図 5(内部 3) 一般階段の手摺について、加工業 ネット+ブラケット同等と記載ありますが、平面詳細図より一般階段の手摺は自立型と思われます。手摺のメンバー詳細をご指示下さい。	実施設計にて確定しますので、ササラに支柱 S t F B 9 × 32 を溶接、手すり子 S t F B 6 × 25、組子 S t F B 9 × 32 として想定してください。
A-59	3F 人工透析 収納棚(L5200 H1000)について、仕様・詳細をご指示下さい。	@ 9 0 0 で両開扉、棚板 2 段、仕様は透析カウンターを参照し想定してください。
A-35	【参考図】標準詳細図 5(内部 3)D5-7 滅菌器囲い詳細図 防煙垂壁 C について、高さ寸法は H500 と考えてよろしいですか。	H 8 0 0 程度とします。
A-35	【参考図】標準詳細図 5(内部 3)D5-7 滅菌器囲い詳細図 三方枠について、高さ寸法をご指示下さい。	H 2 4 0 0 程度とします。
A-58	3F 理学療法室 壁鏡張について、高さ寸法・枠の仕様が不明です。H3000 ステンレス 四周枠と考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
A-05	建築工事特記仕様書 4 20 章エット及びその他の工事 29.避難器具 救命袋 7 か所について、設置階は 3F 2 か所、4F 2 か所、5F~7F 各 1 か所(合計 7 か所)と考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
—	上記質疑について、救助袋の程度をご指示下さい。	法基準等に適合し、操作性に問題のないものを想定してください。

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-05 A-36	天井点検口の寸法について A-05 図 450 角 A-36 図 600 角 と相違しています。A-36 図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-05	建築工事特記仕様書 4 20 章エツト及びその他の工事 3.移動間仕切について、施工場所 図示と記載ありますが、平面詳細図等に図示ありません。不要と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
—	上記質疑について、必要の場合、設置場所・範囲・程度をご指示下さい。	—
A-23	免震ピット RI 浄化槽廻りアルフェンスについて、程度をご指示下さい。	一般グレードを想定してください。
A-77 A-78	建具リスト 1・2 下記建具備考欄 防護手摺について、仕様・メンバー・寸法が不明です、ご指示下さい。	SUS 製 FB t 2.5×5 門型 H 700 程度とします。
A-61	4F プレイルム 手洗いカウンター(小児用)について、高さ寸法が不明です。H500 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-38 A-61	4F NICU 廊下 手洗いカウンターについて、詳細は【参考図】標準詳細図 8(内部 6)D8-12 B タイプ と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-38 A-61	4F 洗濯室横前室 手洗いカウンターについて、詳細は【参考図】標準詳細図 8(内部 6)D8-12 B タイプ と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。

項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-38 A-46	1F 視力検査室 手洗いカウンターについて、詳細は【参考図】標準詳細図 8(内部 6)D8-12 B タイプと考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
A-38 A-47	1F スタッフ通路 歯磨きカウンターについて、詳細は【参考図】標準詳細図 8(内部 6)D8-12 E タイプと考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
A-37 A-49	1F 栄養管理室・委託業者事務室 建具 SW 下カウンターについて、仕様は【参考図】標準詳細図 7(内部 5)D7-1 G タイプと考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
A-39 A-64	【参考図】標準詳細図 9(内部 7)D9-2 ミニキッチン B タイプについて、設置場所 特床室と記載ありますが、平面詳細図に図示ありません、不要とよろしいですか。	設置するものとします。
A-60	4F 廊下(光庭7廻り) 窓台について、仕様が不明です、メラミン・ストフォーム t30 と考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
A-37 A-55	【参考図】標準詳細図 7(内部 5)D7-5 カービスカウンター C タイプ(カフェ)について、平面詳細図に図示されておりません。不要と考えるとよろしいですか。	スライド SS の範囲に設置するものとします。
—	上記質疑について、必要の場合、平面寸法をご指示下さい。	平面寸法はスライド S S ラインを長さとし、奥行きは 600mm とします。
A-37 A-52	2F スタッフラウンジ スクリーンについて、詳細は【参考図】標準詳細図 7(内部 5)D7-12 スクリーン B タイプと考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。

項目	質疑事項	回答事項
—	上記質疑について、スクリーン詳細が A タイプの場合、高さ寸法をご指示下さい。	—
A-13	内部仕上表 1 下記部屋備考欄に記載あるエントランスマットについて、程度・寸法が不明です、ご指示下さい。 ・1F 風除室 1～3 ・2F 風除室 5	風除室全面とします。 (程度は仕上表下欄に記載のエントランスマットを参照)
—	上記質疑について、1F 風除室 4・2F 風除室 6・7 にもエントランスマットが必要な場合、程度・寸法をご指示下さい。	不要です。
A-13 A-54	内部仕上表 1 2F 救急待合備考欄に記載あるパーティション H1500 について程度をご指示下さい。	A37 の D7-12 B とします。
A-36	【参考図】標準詳細図 6(内部 4)D6-8 点滴レールについて、取付か所は図示と記載ありますが、平面詳細図等に図示ありません。取付か所数をご指示下さい。	救急点滴、処置ベッド計 10 箇所とします。
A-38	【参考図】標準詳細図 8(内部 6)D8-2 医がスクリーンについて、設置場所・か所数が不明です、ご指示下さい。	外来化学療法の 12 箇所とします。
A-38	【参考図】標準詳細図 8(内部 6)D8-8 廃棄ボックスについて、設置場所・か所数が不明です、ご指示下さい。	1～3 階に計 5 箇所とします。
A-38	【参考図】標準詳細図 8(内部 6)D8-9 災害用医が隠しパネルについて、設置場所・巾寸法・か所数が不明です、ご指示下さい。	外来待合に計 10 箇所とします。

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-36 A-77	【参考図】標準詳細図 6(内部 4)D6-15 プラント・カーテンボックス詳細図 病室部カーテンボックスの仕様について、建具リスト 1 一般事項欄 枠関係 5 に病室の額縁は木製とすると記載ある為、ボックスも木製と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-05 A-35	OP 室上部床下点検口の寸法について A-05 図 600 角 A-35(D5-1)図 450 角 と相違しています。A-05 図を正と考えてよろしいですか	貴見のとおり。
—	上記質疑について、下部にタラップが必要な場合、仕様・メンバーをご指示下さい。	DS-6 仕様同等とします。
A-38 A-46	1F 視力検査室 作業台上部吊戸棚について、高さ寸法が不明です。H500 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-53	2F 生理検査 待合 ガラスパーティションについて、仕様・詳細・高さ寸法・程度をご指示下さい。	腰壁上に合わせガラス t 15 とします。
	(マニホール 内部仕上)	
A-89	マニホール 室内部仕上について、下記と考えてよろしいですか。 ・床:AE 塗-A ・巾木:床材立上げ H60 ・壁:コンクリート打放し 素地 ・天井:屋根表し 直天	貴見のとおり。



項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	(排水処理・RI 排水処理内部仕上)	
A-89	排水処理室・RI 排水処理室 内部仕上について、下記と考えてよろしいですか。 ・床:AE 塗-A ・巾木:床材立上げ H60 ・壁:コンクリート打放し 素地 ・天井:屋根表し 直天	貴見のとおり。
	(廃棄物庫 内部仕上)	
A-89	廃棄物庫内部仕上について、下記と考えてよろしいですか。 ・床:AE 塗-A ・巾木:床材立上げ H60 ・壁:コンクリート打放し 素地 ・天井:屋根表し 直天	貴見のとおり。
A-89	地流について、グレーチング 蓋の様な図示がありますが仕様が不明です。スチール 溶融 亜鉛メッキと考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
	(井水処理 内部仕上)	
A-89	井水処理室内部仕上について、下記と考えてよろしいですか。 ・床:AE 塗-A ・巾木:床材立上げ H60 ・壁:コンクリート打放し 素地 ・天井:屋根表し 直天	貴見のとおり。
	(新棟 建具)	
A-71 A-77	1F 8～10-E～F 通り 売店 STWD-104 及び ATM STWD-105 について、建具表 部屋名より、売店に付く建具を STWD-105、ATM に付く建具を STWD-104 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。

項目	質疑事項	回答事項
A-71 A-77	上記質疑より STWD-105 の W 寸法について A-71 図 L22000 A-77 図 W3200 と相違しています。A-71 図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-77 ~80	SD-104 他 ダイックシートについて、程度をご指示下さい。	耐久性、腰壁材とのインテリア計画に配慮した一般的な仕様で想定して下さい。
A-77 A-78	SS-102・107・201・202 ランパ° 祢付片開き戸の仕上について、PUB 塗装と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-77 A-79	SWH-101 他 鉛当量 3.0 の鉛ガラスについて、t9 と記載ありますが、鉛当量より t14 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-77	SWH-102・103 鉛当量 5.0 のガラスについて、t9 と記載ありますが、鉛当量より t19.7 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-78	LSDH-110・111 鉛当量 5.0 のガラスについて、t5 と記載ありますが、鉛当量より t19.7 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-79	LSDH-211 について、姿図(引-17 小窓付)とありますが、ガラスの記載がありません。鉛当量より鉛ガラス t14 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-14 A-79	LSDH-301・302 の鉛当量について、2.0 と記載ありますが、仕上表より 3.0 と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。

項目	質疑事項	回答事項
A-77	STWD-101～103・105 のガラスについて、ガラスの記載がありません。強化ガラス t8+フィルムと考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-77	STWD-105・106・205 について、備考欄にランマ部ガラスと記載ありますが、姿図より不要と考えてよろしいですか。	排煙区画にて必要です。
—	上記質疑について、必要な場合、寸法及び姿図をご指示下さい。	欄間 H500 確保とします。
A-78	LSD-K14a・K14b・307 について、ガラスの記載ありますが、姿図より不要と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-41 A-78	LSDH-101 の寸法及び仕上について A-41 図 W1950×H2100 SOP 塗装 A-78 図 W1300×H2100 化粧鋼板 と相違しています。A-78 図を正と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-79	P-206・305 の程度について、他のパーティションと同様にカメラウォールプレートと考えるとよろしいですか。	貴見のとおり。
A-79	LSD-202・302 について、備考欄に袖壁ガラス W1000 T8 と記載ありますが、姿図は片引込みハガー框戸とあります。袖壁ガラスは不要と考えてよろしいですか。	必要です。 (姿図は扉部のみ該当)
—	上記質疑について、必要な場合、姿図及び寸法をご指示下さい。	扉上は天井まで欄間ガラス、袖壁は天井まで FIX ガラスとします。

項目	質疑事項	回答事項
A-80	SW-B01～07、LSD-B01～B06・B13 化粧合板について、他のLSDと同様に化粧鋼板と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-80	P-B01 のガラスについて、フロート t5+フィルムと記載ありますが、他のパーティションと同様に合わせガラスt8と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-80	SD-R07 について、電気錠の記載がありますが、ハ小屋点検口の為、不要と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-81	AW-B15 について、姿図より片引き窓が無い為、開放制限・ブリーツ網戸は不要と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-24 A-25 A-81	<p>下記建具について、型式欄に片引、片開、突出及び嵌殺とありますが、姿図がなく、また立面図に開き勝手の記載も無い為、不明です。下記建具毎に可動部のか所数をご指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片開 — ACW-101～303</li> <li>・片引 — AW-102～103、201～201b、204～206、208～210、301a～302、305～307、309、B01a、B01b、03a、</li> <li>・突出、片開 — AW-B04a</li> <li>・突出、片引 — AW-B23</li> </ul>	<p>ACW は約 10m で 2 箇所 の 片開。</p> <p>AW は約 6m で 2 箇所 の 片引。</p> <p>AW-B04a は突出は欄間全て、片開は 2 箇所。</p> <p>AW-B23 は突出は欄間全て、片開は 2 箇所。</p>
A-81	AW-B09、B12～14、B16～B2 について、姿図より片引き窓の為、他の片引き窓と同様に開放制限付・ブリーツ網戸を必要と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。

項目	質疑事項	回答事項
A-81	ACW-102 について、他のカーテンウォールと同様にブリーツ網戸を必要と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-77	建具リスト 1 共通事項について 枠関係 4.外部付面付仕上がり建具廻りは 2 重 CLK とすると記載ありますが、該当建具が不明です、ご指示下さい。	不要とします。
A-77	建具リスト 1 共通事項について 枠関係 7.SUSD の枠は玄関廻りは角出し仕上とすると記載ありますが、該当する建具が不明です。風除室の SUSD に適用と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-77	排煙ホ゜レーター装置について、手動式と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-77	建具リスト 1 共通事項 ガラス関係他について、2.フィルム貼はサングヅ GF-112 程度、3.窓用フィルム貼は 3M-NANO070S 程度と記載ありますが、使い分けが不明です、ご指示下さい。	サングヅ GF-112 程度は飛散防止フィルム、3M-NANO070S 程度は窓用フィルム貼を東西面に想定しています。 (A05 のその他特記事項参照)
A-03	建築工事特記仕様書 2 16 章建具工事 5. アルミニウム製建具 網戸の材種について、ステンレス製、ガラス繊維入り合成樹脂と記載ありますが、使い分けが不明です。ステンレス製のみ適用と考えてよろしいですか。	ブリーツのためガラス繊維入り合成樹脂とします。

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
A-56 A-59 A-60 A-62 A-63 A-64 A-73 ~76	<p>平面詳細図 下記場所に記載あるガラスについて、建具キープランより建具符号がありません。不要と考えてよろしいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3F 7~8-E~7 通り 説明</li> <li>・3F 15~16-B~D 通り 重1</li> <li>・4F 4~5-B~D 通り 重1</li> <li>・5F 11~12-B~D 通り 重1</li> <li>・5F 4~5-B~D 通り 重1</li> <li>・6F 11~12-B~D 通り 重1</li> <li>・6F 4~5-B~D 通り 重1</li> <li>・7F 11~12-B~D 通り 重1</li> </ul>	<p>建具キープランに建具符号が記載されています。</p>
-	<p>上記質疑について、必要な場合、建具表をご指示下さい。</p>	-
A-77 ~78	<p>シャッターの仕様について、下記と考えてよろしいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電動式</li> <li>・三方枠:スチール t1.6 SOP 塗装 W200 程度</li> <li>・ガイドレール・座板・マグサ:ステンレス HL</li> </ul>	<p>貴見のとおり。</p>

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
<p>A-37</p> <p>A-71 ～73</p>	<p>受付カウンター上部の建具について、標準詳細図 7 受付カウンターに建具の付くタイプがありますが、建具キープランより受付カウンターに建具符号の無い建具があります。下記と考えるとよろしいですか。</p> <p>1F 1～2-A～B 通り 施設課事務室 1  スチール ランマパ ネル付両引き窓  <b>W1500 × H1115 PUB 塗装</b>  フロントガラス t6+フィルム</p> <p>1F 3～4-E 通り 受付  スチール ランマパ ネル両袖 FIX 付両引き窓  <b>W2500 × H1115 PUB 塗装</b>  フロントガラス t6+フィルム</p> <p>1F 10～11-D～E 通り 洗瓶室  スチール 引違い窓  <b>W1000 × H1100 PUB 塗装</b>  フロントガラス t6+フィルム</p> <p>1F 9～10-I～J 通り 守衛室  スチール ランマパ ネル両袖 FIX 付両引き窓  <b>W2500 × H1115 PUB 塗装</b>  フロントガラス t6+フィルム</p> <p>1F 18～19-E 通り 受付  スチール ランマパ ネル付両引き窓  <b>W2000 × H1115 PUB 塗装</b>  フロントガラス t6+フィルム</p> <p>2F 4～5-D～E 通り 薬剤  スチール ランマパ ネル片袖 FIX 付 2 枚片引窓  <b>W1200 × H1115 PUB 塗装</b>  フロントガラス t6+フィルム</p> <p>2F 5～6-B 通り 窓口  スチール 引違い窓  <b>W1000 × H1100 PUB 塗装</b>  フロントガラス t6+フィルム</p>	<p>共通仕様として SUS 製とします。  その他は貴見のとおり。</p>

項 目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	<p>2F 22～23-E 通り 事務室            スチール ランパ<sup>°</sup> 祢<sup>°</sup>両袖 FIX 付両引き窓  <b>W3000 × H1115 PUB 塗装</b>            フロートガラス t6+フィルム</p> <p>3F 6～7-C～D 通り 手術管理            スチール 両袖 FIX 付両引き窓  <b>L7700 × H1100 PUB 塗装</b>            フロートガラス t6+フィルム</p> <p>3F 6～7-E 通り 前室 2            スチール ランパ<sup>°</sup> 祢<sup>°</sup>付両引き窓  <b>W1500 × H1115 PUB 塗装</b>            フロートガラス t6+フィルム</p>	
A-42	<p>【参考図】標準詳細図 12(内部 10)D12-3            木製三方枠の樹種及び仕上について、米            桐 SOP 塗装と考えてよろしいですか。</p>	貴見のとおり。
	(マニホール <sup>°</sup> 建具)	
A-89	<p>東立面図 片開き戸について、下記と考            えてよろしいですか。            スチール 片開き戸 W900 × H2200  <b>SOP 塗装</b></p>	フッ素塗装とします。
	(排水処理・RI 排水処理 建具)	
A-89	<p>北立面図 両開き戸 2 か所について、下            記と考えてよろしいですか。            スチール 両開き戸 W1800 × H2200  <b>SOP 塗装</b></p>	フッ素塗装とします。
	(廃棄物庫 建具)	
A-89	<p>北立面図 両開き戸について、下記と考            えてよろしいですか。            スチール 両開き戸 W1800 × H2200  <b>SOP 塗装</b></p>	フッ素塗装とします。



項目	質 疑 事 項	回 答 事 項
	(井水処理 建具)	
A-89	北立面図 両開き戸について、下記と 考えてよろしいですか。 スチール 両開き戸 W1800×H2200 SOP 塗装	フッ素塗装とします。
	(立体駐車場)	
A-88	立体駐車場は2層3段、型式適合認定品 とする。とありますが、杭基礎の場合型 式の認定はありません。型式認定外と考 えてよろしいですか。	貴見のとおり。
A-88 S-18	立体駐車場部に S-18 の様な地盤改良は 不要と考えてよろしいですか。	貴見のとおり。
-	上記質疑で必要な場合は詳細をご指示 ください。	-
	(電気)	
E-01	2 工事種目及び工事区分の(1)工事種目 に、映像・音響設備工事に印ありますが 、基本設計に記載がありません。別途 工事と考えて宜しいでしょうか。	新棟に映像音響設備はありませんが、 既存3号館の講堂、会議室1に本工事 にて映像音響設備を設置します。
E-01	2 工事種目及び工事区分の(1)工事種目 に、防犯設備に印がありますが、基本設 計に記載がありません。別途工事と考 えて宜しいでしょうか。	貴見のとおり。
	以 上	